

# 2015年3月期 第3四半期決算概要

2015年1月29日  
メタウォーター株式会社

- \* 当社および事業の概要
- \* 中長期的な取り組み
- \* 第3四半期決算の概要
- \* 通期業績予想および配当予想

注)資料に記載した四半期実績(2015年3月期第3四半期を除く)および2013年3月期以前の実績(2010年3月期~2013年3月期の売上高を除く)は、当社管理上の数値であり、参考値として記載しています。

## <セグメント情報>

### □プラントエンジニアリング事業(略語:PE)

当セグメントでは、浄水場内の浄水プロセス、下水処理場内の下水処理プロセス、汚泥処理プロセスに使用する機械設備の設計、建設と、それらを運転するための電気設備の設計、建設を核とした各種エンジニアリングを主たる業務としています。

### □サービスソリューション事業(略語:SS)

当セグメントでは、浄水場、下水処理場、ごみ処理施設・リサイクル施設向けの機械設備や電気設備の補修工事、維持管理(保守・点検)、運転管理などの各種サービスを主たる業務としています。

## <略語>

PPP: Public-Private Partnership: 官民連携

PFI: Private Finance Initiative: 民間資金を活用した社会資本整備

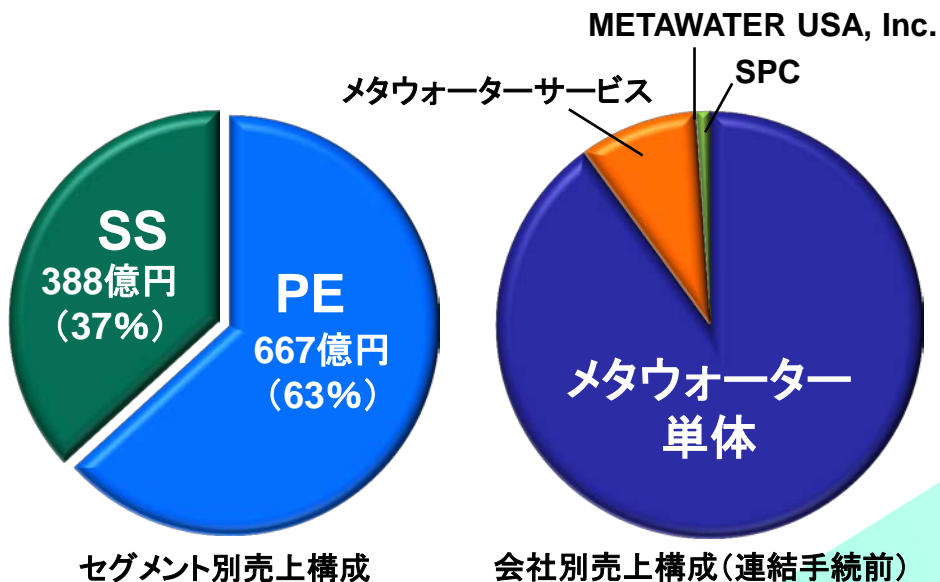
DBO: Design Build Operate: 設計・建設・運転・維持管理

- \* 当社および事業の概要
- \* 中長期的な取り組み

代表取締役社長 木田友康

## 2008年4月、水・環境分野の総合エンジニアリング企業として発足

連結売上高 1,055億円('14/3期)



### メタウォーター

社名	メタウォーター株式会社 METAWATER Co., Ltd.
業種別分類	電気・ガス業
コード	9551
本社	東京都千代田区
従業員数	1,955人

NGK  
水環境システムズ

富士電機  
水環境システムズ

2007年4月  
水環境事業を子会社に承継

日本ガイシ

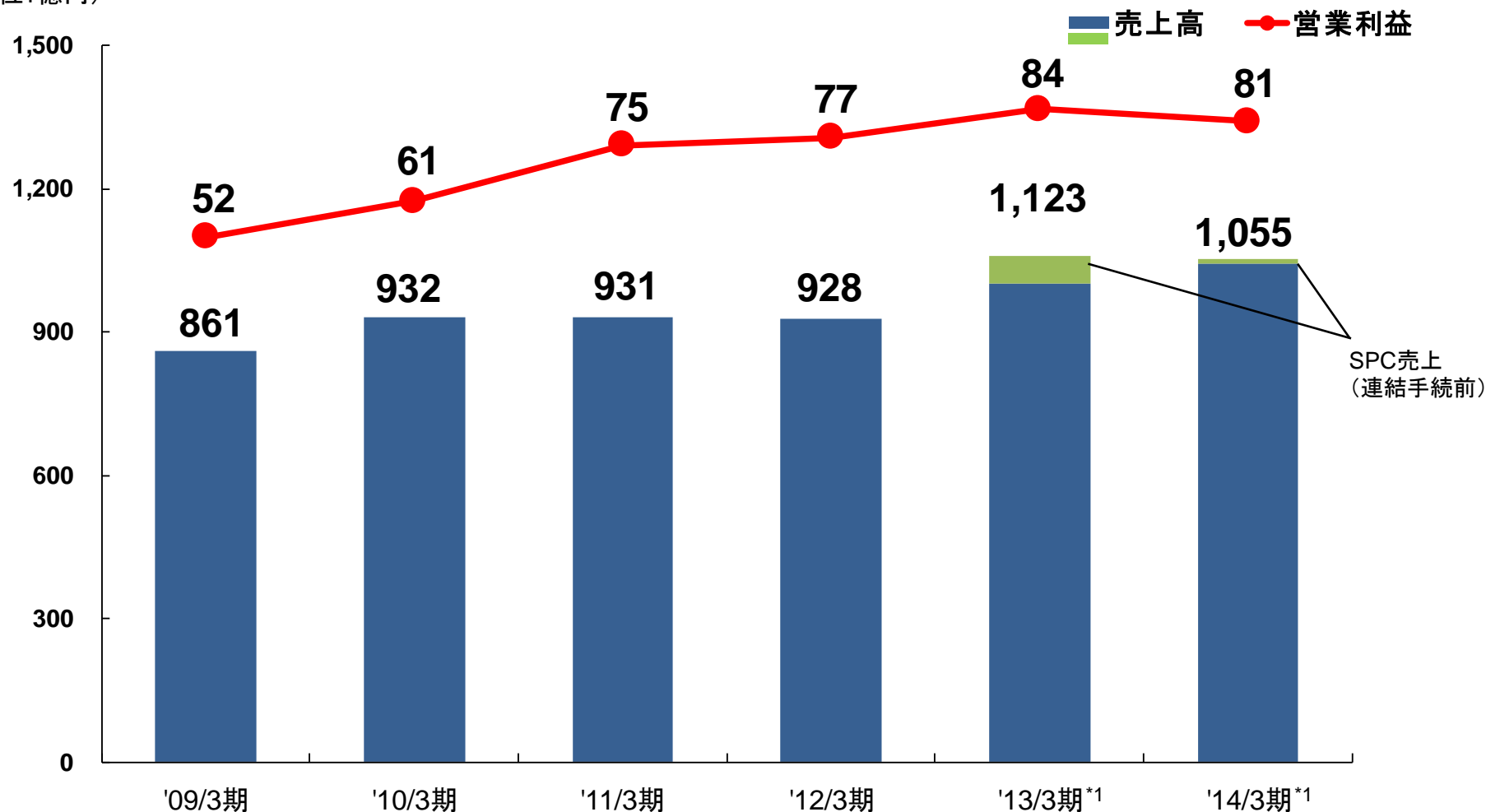
富士電機

2007年2月  
水環境事業の統合で基本合意

## 発足以来、業界トップクラスの売上・利益を持続

### 受注高・売上高・営業利益の推移

(単位: 億円)



\*1: '13/3期よりメタウォーターサービス株式会社とSPC(特別目的会社)3社、'14/3期よりMETAWATER USA, Inc.との連結を開始

## くらし、産業の基盤を支える 水・環境トータルソリューションカンパニーを目指して



## 上下水道施設への機械・電気設備納入 2,000ヶ所以上、関与率約40%

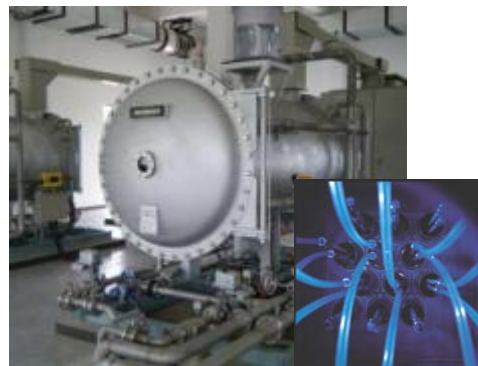
### 機械技術

#### セラミック膜ろ過システム



- 更新需要に最適
- ・低LCC(ライフサイクルコスト)
- 高強度、耐薬品性、省エネ
- 容易な維持管理
- ・省スペース

#### オゾン処理システム



- 安全でおいしい水の供給に貢献
- ・ニオイや色を徹底分解
- ・ウイルスや細菌等を殺菌・不活性化

#### 高速ろ過システム



- ゲリラ豪雨対策にも役立つ  
汚水と雨水の合流改善技術

#### 汚泥焼却システム



- 燃料費とN<sub>2</sub>Oの同時削減
- ・多層燃焼炉
- ・循環式多層燃焼炉

### 電気技術

- 上下水道施設の運転を支える、  
豊富な実績に裏付けされた技術力
- ・施設の全体最適化
- ・LCC低減



#### 受変電設備



#### 計装設備



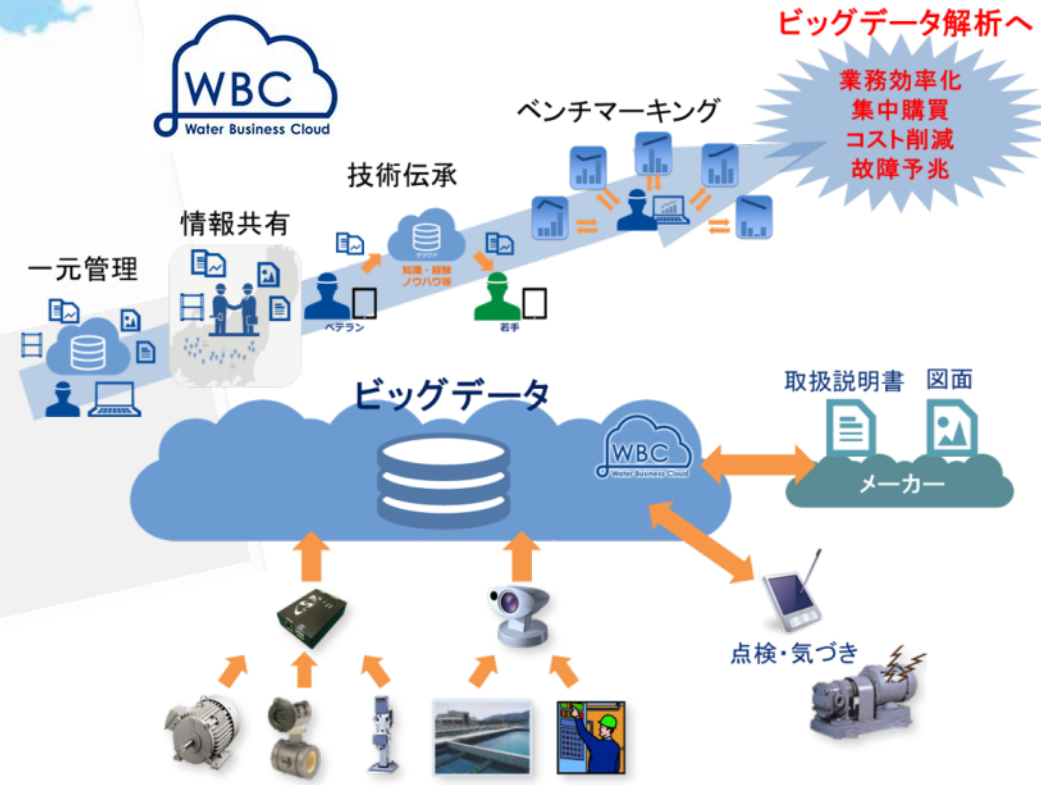
#### 監視制御設備



## 43の国内拠点と8グループ会社 + ICTで水インフラを支える

水ビジネスの未来を変える、  
ウォータービジネスクラウド(WBC)

～WBC活用による運営の高度化～



現在150自治体へ導入済、今期中に200自治体に導入予定

1999年以降に全国で募集されたPFI/DBO事業の45件中18件を受注

横浜市 川井浄水場 再整備事業

日本で初めて浄水場全体の更新と  
運転維持管理を一括してPFI方式で実施した  
日本最大の膜ろ過浄水場



会津若松市 滝沢浄水場更新事業

当社初の送配水事業を含む  
「取水から蛇口まで」一貫した維持管理を受託



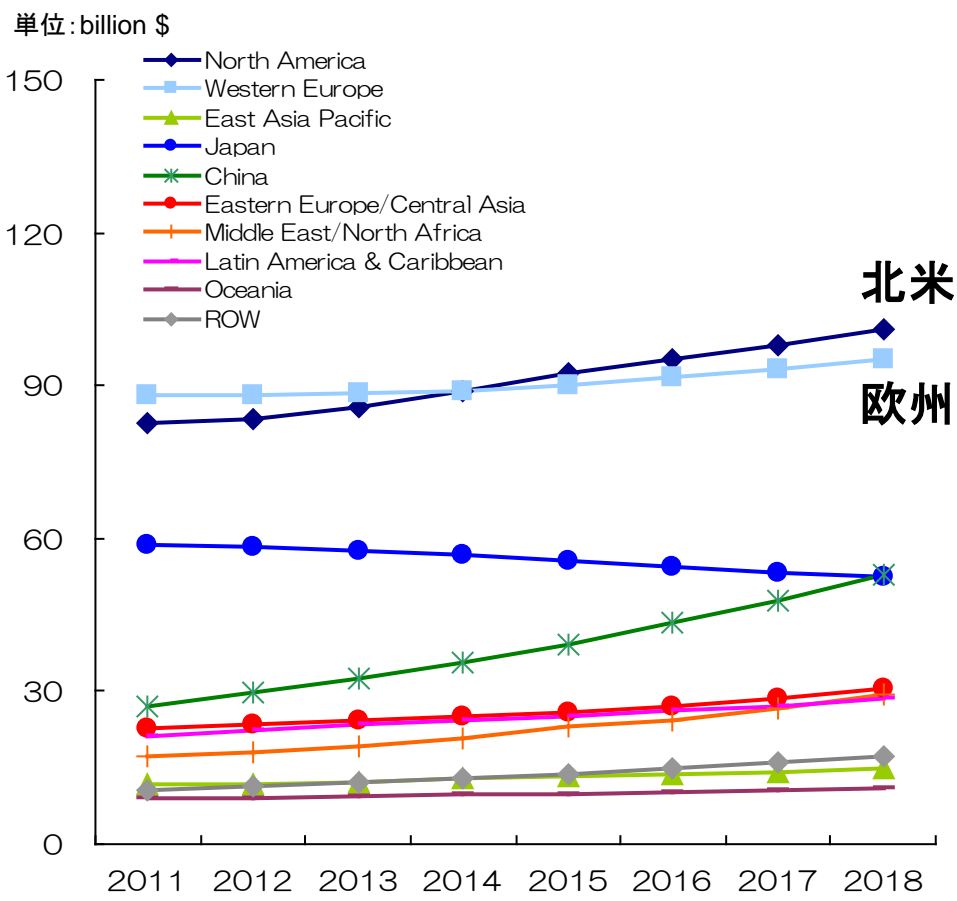
女川町 水産加工団地排水処理施設  
整備等事業

プラント運営における日本初の独立採算型PFI事業



## 北米・欧州の上下水道事業をターゲット

### 地域別の上下水道市場規模の推移\*1



#### 北米

米国ビュート・シルバーボウより  
米国初のセラミック膜元請受注

米国ボストン向け  
オゾン処理システム

#### 欧州

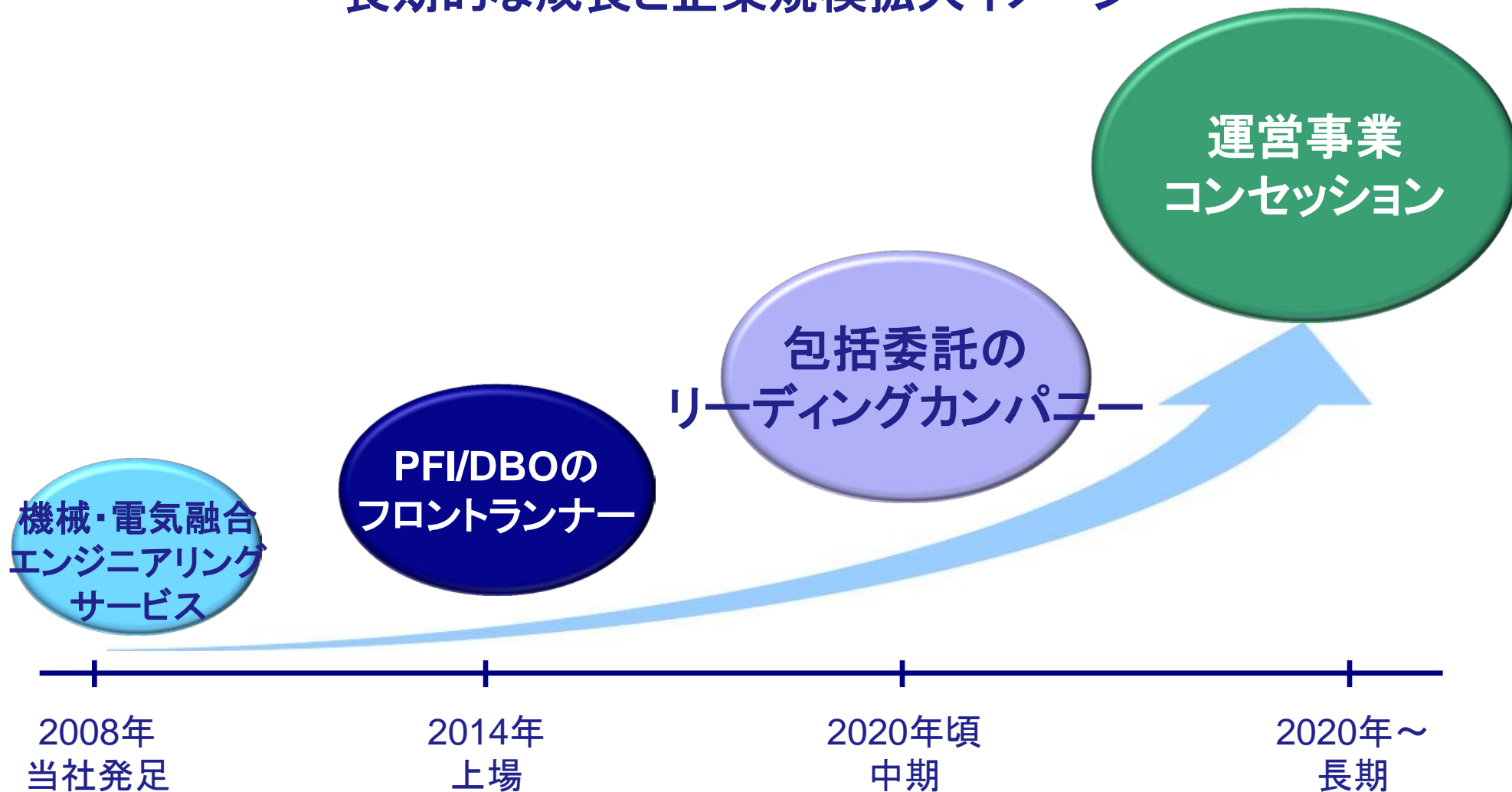
ヴィアデン浄水場  
砂ろ過逆洗廃水処理に  
セラミック膜を採用

アンダイク浄水場  
セラミック膜を採用

\*1: 上下水道事業のCAPEXとOPEXの合算値を示している  
出所) Global Water Market 2014より当社作成

## 機電融合からPFI/DBO、包括委託、そして運営事業・コンセッションへ

長期的な成長と企業規模拡大イメージ



- \* 第3四半期決算の概要
- \* 通期業績予想および配当予想

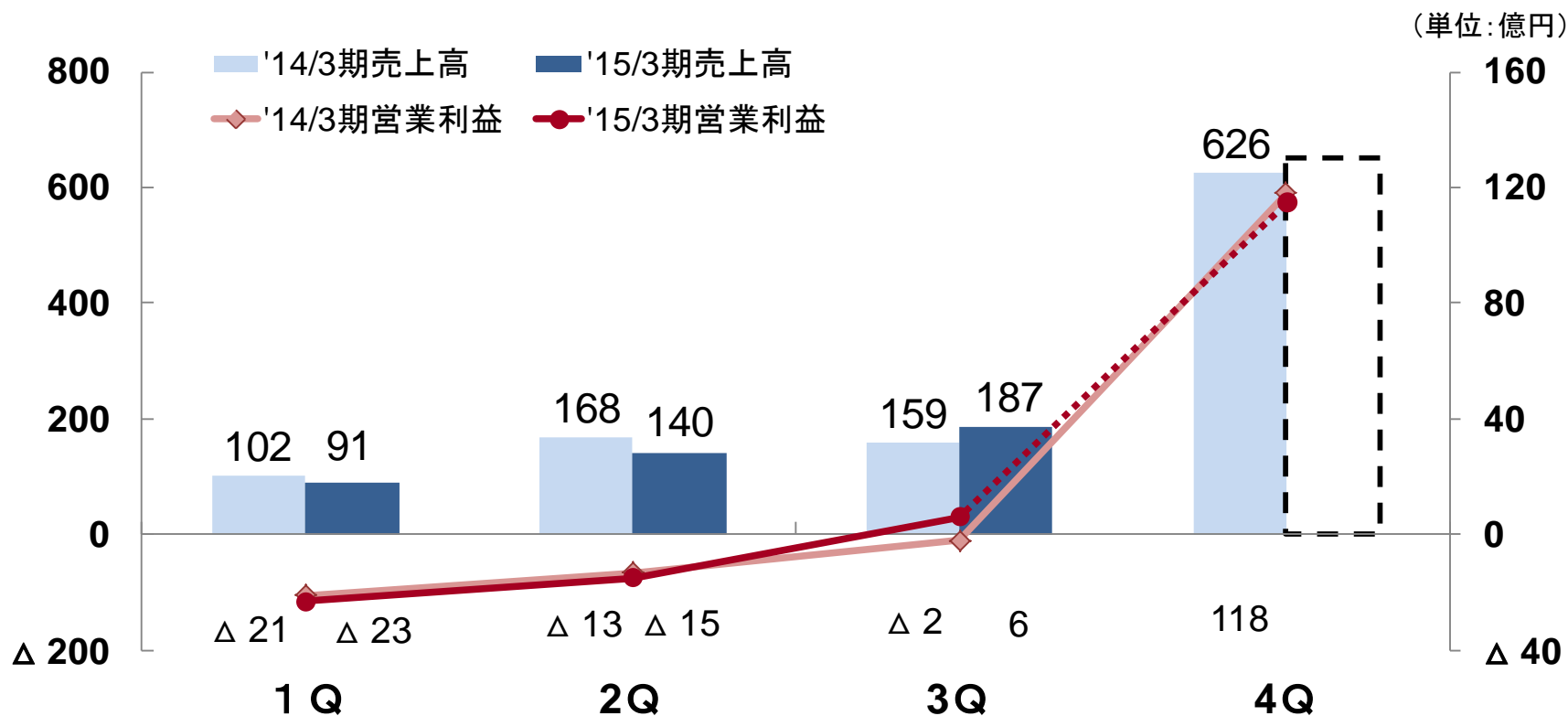
経営企画本部/財務企画部長  
中川 雅幸

1. 当社の特徴
2. 連結損益計算書
3. セグメント情報
4. 連結貸借対照表
5. 連結キャッシュ・フローの状況
6. 通期の業績予想
7. 配当政策

注) 資料に記載した四半期実績(2015年3月期第3四半期を除く)および2013年3月期以前の実績(2010年3月期~2013年3月期の売上高を除く)は、当社管理上の数値であり、参考値として記載しています。

# 1. 当社の特徴

## ■ 収益計上は“第4”四半期に集中



### 【年間合計】

	売上高	営業利益
'14/3期	1,055億円	81億円
'15/3期(予想)	1,069億円	82億円

## 2. 連結損益計算書

### ■ 各四半期での増減はあるが、堅調に推移している

(単位: 億円)

	'14/3期 3Q累計	'15/3期 3Q累計	増減
売上高	429	418	△11
営業利益	△36	△33	+4
(営業利益率)	△8.5%	△7.8%	—
経常利益	△37	△31	+6
四半期純利益	△24	△20	+4



# 3. セグメント情報

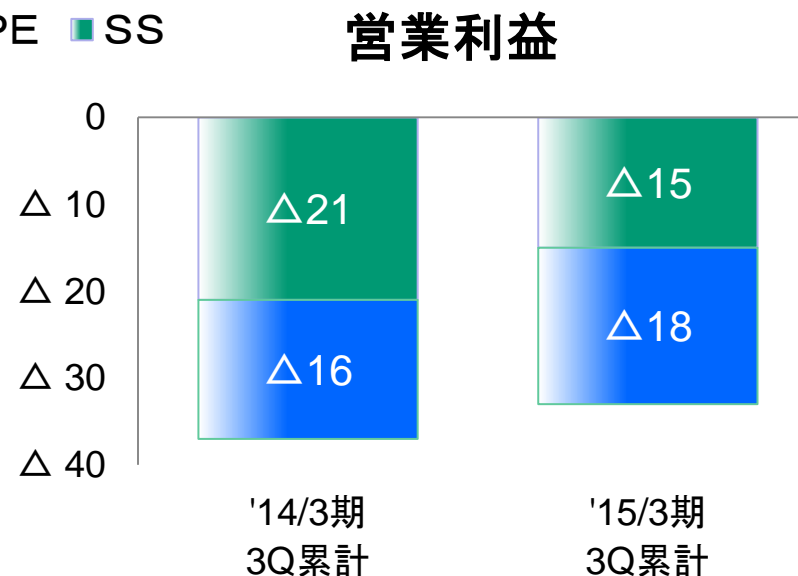
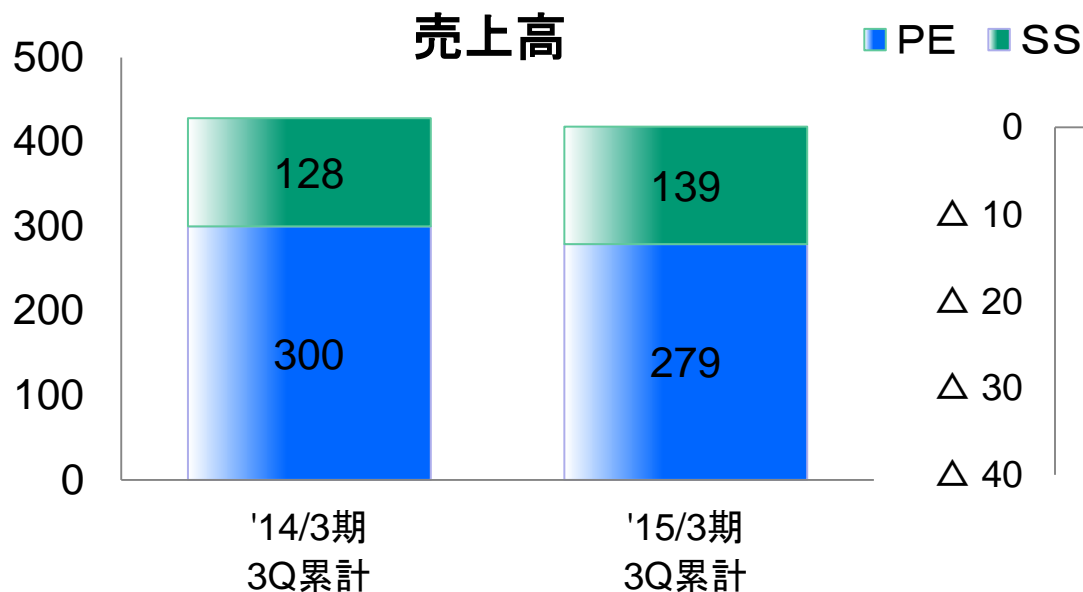
■PE:大型案件の工事進捗が低調に推移

■SS:PFI事業の維持管理などの継続的なサービス請負が堅調に推移

(単位:億円)

	売上高		
	'14/3期 3Q累計	'15/3期 3Q累計	増減
PE	300	279	△22
SS	128	139	+11
合計	429	418	△11

	営業利益		
	'14/3期 3Q累計	'15/3期 3Q累計	増減
PE	△16	△18	△2
SS	△21	△15	+6
合計	△36	△33	+4



# 4. 連結貸借対照表

## ■IPOにより、現金・預金、有価証券が約250億円増加

(単位:億円)

	'14/3期 期末	'15/3期 3Q末	増減
現金・預金	40	156	+116
有価証券 <sup>*1</sup>	—	135	+135
売上債権	650	317	△333
棚卸資産	41	162	+121
その他	43	56	+13
<b>流動資産計</b>	<b>775</b>	<b>827</b>	<b>+52</b>
有形固定資産	18	19	+1
無形固定資産	24	22	△2
その他	55	61	+6
<b>固定資産計</b>	<b>97</b>	<b>101</b>	<b>+5</b>
<b>総資産計</b>	<b>872</b>	<b>928</b>	<b>+56</b>

	'14/3期 期末	'15/3期 3Q末	増減
買入債務	328	146	△182
前受金	53	161	+108
短期借入金 <sup>*2 (89)</sup>	134	<sup>(8)</sup> 8	△126
その他	101	41	△60
<b>流動負債計</b>	<b>616</b>	<b>355</b>	<b>△261</b>
長期借入金 <sup>*3 (20)</sup>	20	<sup>(137)</sup> 137	+117
その他	36	45	+9
<b>固定負債計</b>	<b>56</b>	<b>182</b>	<b>+126</b>
<b>負債計</b>	<b>672</b>	<b>537</b>	<b>△134</b>
<b>純資産計</b>	<b>200</b>	<b>391</b>	<b>+191</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>872</b>	<b>928</b>	<b>+56</b>

\*1：有価証券は、譲渡性預金である

\*2、3：カッコ内の数値はPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの金額

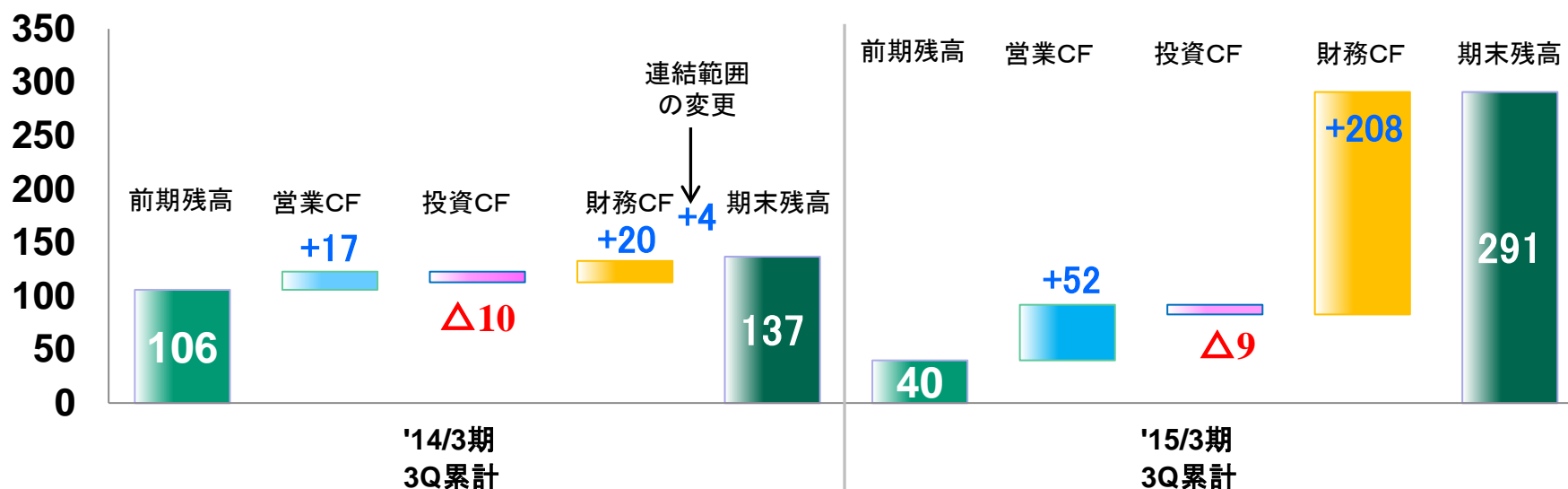
# 5. 連結キャッシュ・フローの状況

## ■回収増(売上債権減)により営業CF改善

(単位:億円)

	'14/3期3Q累計	'15/3期3Q累計
現金・現金同等物の前期残高	106	40
営業キャッシュ・フロー	17	52
投資キャッシュ・フロー	△10	△9
フリー・キャッシュ・フロー	7	43
財務キャッシュ・フロー	20	<sup>*1</sup> 208
連結範囲の変更(METAWATER USA, Inc.追加)	4	-
現金・現金同等物の期末残高	137	291

\*1: 有価証券  
(譲渡性預金)を含む



# 6. 通期の業績予想

(単位: 億円)

	'14/3期 通期実績	'15/3期 通期予想	増 減
売 上 高	1,055	1,069	+14
営 業 利 益	81	82	+1
( 営 業 利 益 率 )	7.7%	7.7%	0pt
経 常 利 益	80	78	△2
当 期 純 利 益	42	47	+5
受 注 高	1,070	1,170	+100
平均為替レート	1\$=97.73円	1\$=105.00円	

## ■売上高増減要因

- ・SSの増加

## ■営業利益増減要因

- ・販売管理費の抑制による増加

## ■経常利益増減要因

- ・IPO関連費用の発生

## ■当期純利益増減要因

- ・'15/3期特別損失発生なし
- ・'14/3期特別損失計上  
(退職給付費用)

## ＜基本方針＞

当社は、安定成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保資金を確保しつつ、経営状況に応じた株主への利益還元を継続して行うこととしている。

	2014/12 中間配当	2015/6 期末配当	年間計
一株当たり配当額	29円*	29円	58円*

\*当社は2014年10月1日付で、株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っており、中間配当金は2014年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の金額です。また、期末配当金は株式分割後の配当予想です。

## ディスクロージャーポリシー

### 1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方に則り、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションをはかることにより、当社グループに対する理解促進をはかり、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

### 2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法等の諸法令および金融商品取引所の定める規則等により開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則等に則り、情報開示を行います。また、法令や規則等に該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様にとって有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

### 3. 情報開示の方法

上記の法令や規則等により開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則等で定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則等に該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページ等を通じて情報開示を行います。

### 4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答等を通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションをはかります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見等は、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

### 5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算(四半期決算を含む)期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見直しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答等は差し控えます。

### 6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標等のうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

### 7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションがはかれるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



＜本資料に関するお問い合わせ先＞

メタウォーター株式会社 経営企画本部 広報IR部

Tel: 03-6853-7317 Fax: 03-6853-8709 E-mail: pr@metawater.co.jp

